

蒲田工業

29番地8
目1組人蔵所
丁2同行委員會
行7協同行會
田8業及編輯部
(732)工編森刷
大話印石印江東
都電蒲機
京大編印社
東株式會社
東印橋堂

新春放談あれこれ

新製品開発

司会者 明けましておめでとうございます。皆さま方には、昭和六十三年の新春を健やかにお迎えになられた様子で、お慶びを申上げますとともに、本日は新春恒例の放談会ということで、お集りいただいたの新規を心から厚くお礼申上ます。

ですが、年初早々のこと、なにかご多用の中をこ出席いただきまし」とぞ心から厚くお礼申上

ます。さて、「日新たなり」という言葉があります。来る年は良い年になりますように、願望をもつてこの昭和六十三年の新春を迎えて

新年明けましておめでとうございます。組員並びに木賀会の皆様には、よいよ健勝にて昭和六十三年戊辰(つちのとたつ)の新春をお迎えになられたこと衷心より賀申上げます。

旧年中は、当組合の運営に格別の協力と奉仕をいただき、お陰様で高度先端開発技術の急進等により各分野にわたる戦後最大の激動化にも拘らず、大過なく越年できましたことは誠に同慶の至りありますとともに、心から敬意と感謝を表す次第でござります。

昨年の我が國の経済は、円高に明け暮れいたしましたが、米国は第三次産業革命といわれる大激動化において、政府と民間の積極的な内需拡大努力により取残され、新しい構造不況さ



年頭ご挨拶

理事长 千葉博

クス、バイオ、新素材等のハイテク化や情報化が大変勢いで進展するなど、第三次産業革命といわ

る

苦に、NICS(新興工業国群)

の追上げや同業者間の競争激化に

ます。創意工夫、研究開発、発明

考案、そ日本民族唯一の至善であ

ります。

しかし、企業の経営は、他力を

も

りません。

そのため、その

は

事態

は

命的問題

でありますだけに、事態

は

深刻であります。

この

は

資源

は

豊富

であります。

前頁より

E Dさんから預かってい
が、預かった以上責任がある
といきたいと思っています。

がよいですよ。所有権になりますからね。

いの単価でやつていいか知っていますので、『そこをやめて、なぜうちへ来たのですか』と聞いたと

A われわれの金属表面処理と つ業界は、大手企業が手を出さ

サイドの問題です。早い話が、よ
りと自分の弱点を、選いと云はれ
るかもしれませんのが、じっくりす
ることで見直してみたいと思う
百十個でされば八円でも売間に

出席者
(五十音順)

円高の影響もあって、品質は勿論のこと、価格においても絶対に優位を保たなければシェアを守つていくことができないからです。早い話が、石油ボンブの心臓部であるポンプが、なんと八百五十円なんです。それでいて、二年間の保証をしなければなりません。オモチャより安い値段で、精度をものすごく要求されます。精度の集積がボンブの性能に大きく影響するからです。ですから、昨年は出荷量は増え

E Dさうから預かっています。
が預かつた以上責任があるのです。
慎重にと思って、従業員が帰つた
あと、自分一人で操作して評価し
なければならぬ関係で、一寸時
間がかかりますが、非常によいも
のではないかと思います。

司会者 でさうしたものは工業種を
確保するということで、実用新案
でもよいから、どんどん出した方

物を作る人というのは、そういう
う法的な処置は苦手といつて、全
然駄目ですからね。大手企業はそ
れを狙っているのですよ。大手企
業には社長直属の特許課があつて
利用できるものはあらゆる手を使
つて利用し、知らん顔をしていま
すからね。

いの車両でやっているか知っていますので、『そこをやめて、なぜうちへ来たのですか』と聞いたとき、値段を安くしたいからというところはハッキリお断りします。精度とか、納期とか、むずかしい仕事なのでとか、そういうことでうちへ来られた場合のみ、『お宅の希望を言って下さい』ということです。以前は、日立にして、東芝やナシナルにしても、社内でやっていたのですが、今はもう全部やめて、下請にまかせるということになりますが、今はもう全部やめて、下請にまかせるということになつてきています。

A われわれの金属表面処理といふ業界は、大手企業が手を出さない、所謂隙間産業と言えます。以前は、日立にして、東芝やナシナルにしても、社内でやっていたのですが、今はもう全部やめて、下請にまかせるということになつてしまつています。

（） サイドの問題です。早い話が、よ
り百二十個できれば八円でも売れる
なります。ですから、同業者との
戦いということになります。
それから、窑先に、これだけコ
ストがかかりますから、これだけ
下さいという努力と、今申上げま
したように、よそに流れているも
のを貰ってくるという努力との積
み重ねが、こゝ暫くは続くのではないか
と思つていてます。

D Aさんの業界が隙間産業だ
と言つれましたが、私どもの鍛金
率は最高ですよ。

司会者 万年赤字会社だった大
正石油と丸善が合併して、コスモ
という会社を作りましたが、この
コスモは、今あなたが仰つたよう
に、徹底的に精製技術を追求して
他社に負けないものを作り、それ
がために、決算書を見ますと利益

出席者	(五十音順)
右 森 憲 蔵	株式会社 東電舎
石 崎 登 真 雄	株式会社 三協アルマイド
戸 田 竜 三	蒲田工業協同組合
上 葉 博	太產工業株式会社
坂 基 秀	蒲田工業協同組合

生き残る道は



異業種交流

ですから、私はもう一度、社内を見直してみたいと思っているの

ソリンが百二十円くらいなのに
コスモは百十二円ですからね。そ
れで、あれだけの利益を出し

F 余暇になりますが、他の方
回見直してみると、これは必要
ですね。

率は最高ですよ。
だから、あなたが仰つたように
自分のところの国庫支拂ひをうつ
西ヶ谷 勝 美

に、徹底的精製技術を追求して
他社に負けないものを作り、それ
に、戸上皓司
太産工業株式会社
蒲田工業協同組合

正田竜三
蒲田工業協同組合
千葉謙一

す。そこから何が出てくるのではないか、また、出てこなくてはいけないと思っています。

出席者（五十音順）

司会者 Dさんのところで、新しく考案されたものがあると聞きましたが、……。

D 私どもの製造設備関係からヒントを得て、これがなければ便利だなあというものを作つてみたのですが、手前味噌がどうしてもあらうではないかと思って、現在、仲間のEさんとのうえで評価して貢っています。

これはたまたま瓢箪から駒が出たよようなもので、この先どうなるかわかりませんが、楽しみでもあります。

B 中小企業金融公庫が出しておる月刊雑誌にも、親企業から図面を与えられて、それを加工する

私はこの養育に入つて三十年になりますが、どうも私はや
りますが、そつてないものはやは
り人に頼みます。
私はこの養育に入つて三十年にな
りますが、皆さんがよく話され
るよう、同業者との競争で、否
應無しに合理化で苛められるとい
う経験が殆どないのです。
例えば、新しい仕事を持ち込まれ
ても、たゞいそれが結構よい仕
事であつても、私は必ず“今まで
どちらでやらねいたのですか”
と聞きます。この裏表地区で同じ
ような仕事をしているところが十
数社ありますが、どこはどれぐら

ましょう」という方法でしかやつておりません。ですから、こちらから仕事を下さいと言つて行つたことは未だかつてありませんし、また、今後も言つつもりはありません。でないと、泥沼の鬭争に入つていかざるを得ないからです。

司会者　企業の特色を活かした生き残り策の一つかもしれません。商売になるかと考ふるが、自分

つても、余裕なくなるということはないと思つてます。だから、その中で、どうやって同業者と競争していくかということです。

先程Eさんが言われたのと全く反対で、私はバッタではないがどこへ行っても頭を下げます。よそが十円でもやるなら、うちは八円でやります。八円でどうやつたら商売になるかと考ふるが、自分

F 私のところは、トンネルの先が見えましたが、そこは雪国で、どうにもなりません。と言うのは、数物をやっている工場を抱えていますので、今年の暮ぐらには仕事が今の三分の一ぐらいいに減るのではないかと思っています。

では、どうすればよいか、理屈の上からハードからソフトへ、生産技術のソフトをということになるのですが、今の段階では、現実的にはどうしてよいかわかりません。

そこで、この一年は、自分の業

G 昭和二十二年と二十三年頃
でしたが、仕事がまだ十分ない時のことですが、組合で或る大手企業へ日参して漸く仕事を貰い、組合を通じて組員に仕事を流していたのですが、暫く順調に流れている間は良かったのです。ところが、そのうち、A工場は自分のところに流されてきてる仕事を組合を通さずに大手企業と直結してしまったのです。**G** 業種交流のハンシリとも言つべき同業注をやつたそうですが、それがどうして駄目になつたのか、Gさん、....。

るへ直結してしまったところが、あれでコタツが起き、組合員にそれがわざと悪くなつたので、それ以来共同受託という形はどうぞ、仕事は右から左へ斡旋するという形に切り替へ、今日に至つてゐます。

前頁より

異業種交流というものは、その集まりの中から、お互いの企業が持っている技術を結びつけて、新しいものを開発していく。そういう発想から生まれたものですが、結びつく率は非常に少なく、たとえそれが偶然に結びついて、苦心の末に問題になりますね。中国五千年の歴史を要約した十八史略にも、人間といふものは艱難共にすることは割合できるものだが、富貴をとりうるとは非常にむずかしいと教えてくれます。

司会者 異業種交流は、結構、大の虫が小の虫を食うといつて、自然なものです。異業種交流も当然の原理であります。小の虫が特許権を持つておれば別ですが、持つていなければ大感動で大の虫は小の虫を食つてしまします。だから、私は異業種交流というのは悲観的なことです。

F 今のお話に実によく似た美談があります。或る鍵屋の親父さんが解凍機を実用新案で作ったのです。これがこれに目をつけ、これはすばらしい、今までないものだと思つた途端に、それを真似して特許の目逃れて、しかも、もとと形の良いものを作り上げて売り出したのです。途端にその親父さんの解凍機は売れなくなり、会社はベシャン一品ぐらいは開発できても、それをもつと押し進めて、あとを追つて

D 激しい世の中と言えば、私も大手業者から機械を買入れて欲しくて、簡単に漫画を書いて渡したら、早速作ってきたのです。

C 私どもと日本の最大手企業と共同開発したものがあるので私どもの方がハロのアイデアを出し、向うは二〇%しかアイデアを出さないのに、対等でやろうと言うのです。何を言うかFさんのところで精度の高い数のものやつてねらねるということがわからましたので、私どもの仕事を伝つていただけかなあと思つた次第ですが、どのようにお互いに活用しあうことが必要ではないでしょうか。

B 私のところでも、大手企業との共同特許は数多く持っていますが、実際問題としてなんのメリットもありません。

E 異業種交流というのは一種の運営病で、これをやれば、一応先端を行つてある気になれるのですが、……。

逆に言つたら、あなた方はパートをおとり下さい、その代り、下請企業なり、十円のものが八

かるだけの開発能力がなければどうにもならないということです。

ようね。

D うちは製造権を貢りますよ、こ内でペイできるようにとか、単体

それが一番聰明なやり方ではないか

と思つています。

E 異業種交流の本質的なもの

をあげてくようにするが、そ

ういう発想がなければ、下請は成

績局、いくら良いものを作つ

ても力のないところはあると

ころに持つていかれてしまうとい

う典型的な例です。それぐらい激

しい世の中だということです。

D もともとこんな例があるのです。

E 或の大手業者から機械を買入れ

て欲しいと言つて、簡単な漫画を

書いて渡したら、早速作ってきた

のに、どうも使い勝手が悪い

ところだというのです。

D あるいは、お役所なんかで、いくら

うでモテんな例があるのです。

E うでモテんな例があるのです。

F うでモテんな例があるのです。

G うでモテんな例があるのです。

H うでモテんな例があるのです。

I うでモテんな例があるのです。

J うでモテんな例があるのです。

K うでモテんな例があるのです。

L うでモテんな例があるのです。

M うでモテんな例があるのです。

N うでモテんな例があるのです。

O うでモテんな例があるのです。

P うでモテんな例があるのです。

Q うでモテんな例があるのです。

R うでモテんな例があるのです。

S うでモテんな例があるのです。

T うでモテんな例があるのです。

U うでモテんな例があるのです。

V うでモテんな例があるのです。

W うでモテんな例があるのです。

X うでモテんな例があるのです。

Y うでモテんな例があるのです。

Z うでモテんな例があるのです。

A うでモテんな例があるのです。

B うでモテんな例があるのです。

C うでモテんな例があるのです。

D うでモテんな例があるのです。

E うでモテんな例があるのです。

F うでモテんな例があるのです。

G うでモテんな例があるのです。

H うでモテんな例があるのです。

I うでモテんな例があるのです。

J うでモテんな例があるのです。

K うでモテんな例があるのです。

L うでモテんな例があるのです。

M うでモテんな例があるのです。

N うでモテんな例があるのです。

O うでモテんな例があるのです。

P うでモテんな例があるのです。

Q うでモテんな例があるのです。

R うでモテんな例があるのです。

S うでモテんな例があるのです。

T うでモテんな例があるのです。

U うでモテんな例があるのです。

V うでモテんな例があるのです。

W うでモテんな例があるのです。

X うでモテんな例があるのです。

Y うでモテんな例があるのです。

Z うでモテんな例があるのです。

A うでモテんな例があるのです。

B うでモテんな例があるのです。

C うでモテんな例があるのです。

D うでモテんな例があるのです。

E うでモテんな例があるのです。

F うでモテんな例があるのです。

G うでモテんな例があるのです。

H うでモテんな例があるのです。

I うでモテんな例があるのです。

J うでモテんな例があるのです。

K うでモテんな例があるのです。

L うでモテんな例があるのです。

M うでモテんな例があるのです。

N うでモテんな例があるのです。

O うでモテんな例があるのです。

P うでモテんな例があるのです。

Q うでモテんな例があるのです。

R うでモテんな例があるのです。

S うでモテんな例があるのです。

T うでモテんな例があるのです。

U うでモテんな例があるのです。

V うでモテんな例があるのです。

W うでモテんな例があるのです。

X うでモテんな例があるのです。

Y うでモテんな例があるのです。

Z うでモテんな例があるのです。

A うでモテんな例があるのです。

B うでモテんな例があるのです。

C うでモテんな例があるのです。

D うでモテんな例があるのです。

E うでモテんな例があるのです。

F うでモテんな例があるのです。

G うでモテんな例があるのです。

H うでモテんな例があるのです。

I うでモテんな例があるのです。

J うでモテんな例があるのです。

K うでモテんな例があるのです。

L うでモテんな例があるのです。

M うでモテんな例があるのです。

N うでモテんな例があるのです。

O うでモテんな例があるのです。

P うでモテんな例があるのです。

Q うでモテんな例があるのです。

R うでモテんな例があるのです。

S うでモテんな例があるのです。

T うでモテんな例があるのです。

U うでモテんな例があるのです。

V うでモテんな例があるのです。

W うでモテんな例があるのです。

X うでモテんな例があるのです。

Y うでモテんな例があるのです。

Z うでモテんな例があるのです。

A うでモテんな例があるのです。

B うでモテんな例があるのです。

C うでモテんな例があるのです。

D うでモテんな例があるのです。

E うでモテんな例があるのです。

F うでモテんな例があるのです。

G うでモテんな例があるのです。

H うでモテんな例があるのです。

I うでモテんな例があるのです。

J うでモテんな例があるのです。

K うでモテんな例があるのです。

L うでモテんな例があるのです。

M うでモテんな例があるのです。

N うでモテんな例があるのです。

O うでモテんな例があるのです。

P うでモテんな例があるのです。

Q うでモテんな例があるのです。

R うでモテんな例があるのです。

S うでモテんな例があるのです。

T うでモテんな例があるのです。

U うでモテんな例があるのです。

V うでモテんな例があるのです。

W うでモテんな例があるのです。

X うでモテんな例があるのです。

Y うでモテんな例があるのです。

Z うでモテんな例があるのです。

A うでモテんな例があるのです。

B うでモテんな例があるのです。

C うでモテんな例があるのです。

D うでモテんな例があるのです。

E うでモテんな例があるのです。

F うでモテんな例があるのです。

G うでモテんな例があるのです。

H うでモテんな例があるのです。

I うでモテんな例があるのです。

J うでモテんな例があるのです。

K うでモテんな例があるのです。

L うでモテんな例があるのです。

M うでモテんな例があるのです。

N うでモテんな例があるのです。

O うでモテんな例があるのです。

P うでモテんな例があるのです。

Q うでモテんな例があるのです。

R うでモテんな例があるのです。

S うでモテんな例があるのです。

T うでモテんな例があるのです。

U うでモテんな例があるのです。

V うでモテんな例があるのです。

W うでモテんな例があるのです。

X うでモテんな例があるのです。

Y うでモテんな例があるのです。

Z うでモテんな例があるのです。

A うでモテんな例があるのです。

B うでモテんな例があるのです。

C うでモテんな例があるのです。

D うでモテんな例があるのです。

E うでモテんな例があるのです。

F うでモテんな例があるのです。

G うでモテんな例があるのです。

H うでモテんな例があるのです。

I うでモテんな例があるのです。

J うでモテんな例があるのです。

K うでモテんな例があるのです。

L うでモテんな例があるのです。

M うでモテんな例があるのです。

N うでモテんな例があるのです。

O うでモテんな例があるのです。

P うでモテんな例があるのです。

Q うでモテんな例があるのです。

R うでモテんな例があるのです。

S うでモテんな例があるのです。

T うでモテんな例があるのです。

U うでモテんな例があるのです。

V うでモテんな例があるのです。

W うでモテんな例があるのです。

X うでモテんな例があるのです。

Y うでモテんな例があるのです。

Z うでモテんな例があるのです。

A うでモテんな例があるのです。

B うでモテんな例があるのです。

C うでモテんな例があるのです。

D うでモテんな例があるのです。

E うでモテんな例があるのです。

F うでモテんな例があるのです。

G うでモテんな例があるのです。

H うでモテんな例があるのです。

I うでモテんな例があるのです。

J うでモテんな例があるのです。

K うでモテんな例があるのです。

L うでモテんな例があるのです。

M うでモテんな例があるのです。

N うでモテんな例があるのです。

O うでモテんな例があるのです。

P うでモテんな例があるのです。

Q うでモテんな例があるのです。

R うでモテんな例があるのです。

S うでモテんな例があるのです。

T うでモテんな例があるのです。

U うでモテんな例があるのです。

V うでモテんな例があるのです。

W うでモテんな例があるのです。

X うでモテんな例があるのです。

Y うでモテんな例があるのです。

Z うでモテんな例があるのです。

A うでモテんな例があるのです。

B うでモテんな例があるのです。

C うでモテんな例があるのです。

D うでモテんな例があるのです。

E うでモテんな例があるのです。

F うでモテんな例があるのです。

G うでモテんな例があるのです。

H うでモテんな例があるのです。

I うでモテんな例があるのです。

J うでモテんな例があるのです。

K うでモテんな例があるのです。

L うでモテんな例があるのです。

M うでモテんな例があるのです。

N うでモテんな例があるのです。

O うでモテんな例があるのです。

P うでモテんな例があるのです。

Q うでモテんな例があるのです。

R うでモテんな例があるのです。

S うでモテんな例があるのです。

T うでモテんな例があるのです。

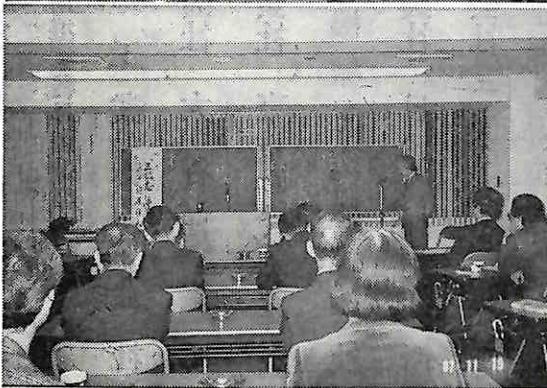
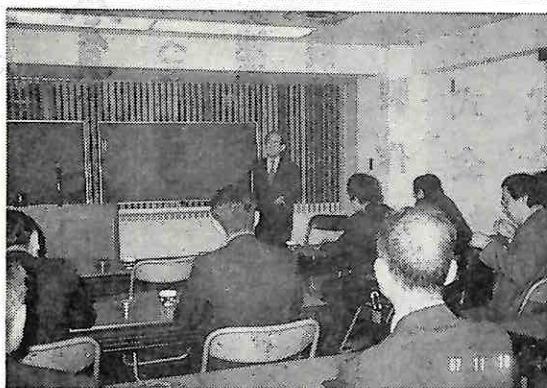
U うでモテんな例があるのです。

V うでモテんな例があるのです。

W うでモテんな例があるのです。

X うでモテんな例があるのです。

Y うでモテんな例があるのです。



前頁より 十月十六日 横関紙「工業蒲田」 主な記事 経営安定臨時特別融資。
労働講座 短期技能講習会(園田の見方)。
新築住宅に対する固定資産税の減額要件改正。
自動車ローンは組合で。
十月二十日 青年部 経営サロン(木鷲会) 主な話題
ヤナセ・ツガミ・ミネベアの社長交替について。 代表取締役社長について。
十月二十四日 懇親旅行会(木鷲会) 塔のへツり、会津若松、東山温泉 (木鷲会) 主な話題
十月二十五日 懇親旅行会(木鷲会) 磐梯五湖めぐり 十一月四日 定例経営サロン(木鷲会) 円高と株・債券について。 受注単価について。

スキンマ事業について
企業秘密について。
親会社の要求と経営者の人生観
について。

十一月五日 常任理事会

1、九月末試算表について
別紙試算表について報告、全
員これを読取。

2、永年勤続従業員表彰について
イ、被表彰者について
五年以上三十六名、十年以
上二十四名計六十名を表彰す
ることに決定。

ロ、被表彰者代表について
事務局に一任することに決
定。

3、放談会・懇談会について
左のとおり決定。

日時＝十一月二十六日（木）
午後四時三十分～六時放談会
午後六時より懇談会・懇親会。場
所＝ときわ。懇談会費＝一〇〇
〇〇円。呼びかけ対象者＝本鷄
会員に一任。

4、年末・始休暇について
十二月三十日(水)～一月四日(月)の六日間と決定。

5、新春講演会・新年賀詞交換会について

左のとおり決定。

日時：昭和六十三年一月六日(水)午後四時～六時新春講演会、午後六時より新年賀詞交換会、場所：蒲田工業会館。講演会テーマ：「六十三年の景況と企業経営」。講師：経営評論家・国際エコノミスト長谷川慶太郎氏。

6、職員年俸改定について
十一月十一日 中小企業団体全国大会

十一月十七日 青年部経営サポート主な話題
(木鷲会)

相続対策について。
国土利用計画法について。
減資について。

兄弟姉妹との持株比率について

十一月十九日	研究会(木鶴会)	人材養成について。
テーマ	「三国志に学ぶ」	
十一月二十日	講演会(本鶴会)	
テーマ	「看手経営者の成人病対策」	
講師	蒲田保健所防誤長	
医師	鈴木和子氏	
十一月二十三日	水年勤続録鶴員	
表彰式	(大田区民会館)	
被表彰者は左のとおりです。		
五年以上勤続録貢従業員	(会社名	
五十音順、略称)		
吉野勝利・藤本和弘(尼寺生庄		
工業株式会社)		
岩佐真良(岩佐工機株式会社)		
大内利昭・猪俣文雄・近藤寿一		
・板垣晉悦(株式会社清川製作		
所)。		
川村敏子・岡崎タマエ・沢田未		
栄・川野紀久江・飯島文子・河		
崎泰子・吉田とみ子・熱田力三		
子・村岡芳子・金子光子・青柳		

雅則・小倉田美・若沢勇男・外
塙豊子・近藤剛子・佐藤守・山
崎喜久子・佐藤許子(太産工業
株式会社)。
木村東・大田昭一・岩崎武美(株
式会社東亜製作所)。
河原健吉・西野秀樹・小林利雄
・齊藤一三・柄木喜喜・千村瓜
利・田上正巳・磯村和彦(西野
機械工業株式会社)。
以上六社三十六名
十年以上勤続優良従業員(会社名
五十音順、略款示)
佐伯久子・板谷みさ子・渡部照
子(尼寺空手工業株式会社)。
高橋治好(株式会社清川製作
所)。
林節子・平山一子・小椋幸枝
・菅原タイ子・荒井伸夫・前田
富士一・鈴木智之・山仰健二・
清水初・福田昌則・清水雄司・
小倉正治・川田はる・畠尚樹・
古関みつ・真鍋定吉・小武方陽
子(太産工業株式会社)。

十一月二十五日	機関紙「工業蒲田」運報版發行	山崎光志(蒲田工業協同組合)
主な記事	大田区工業名簿。	以上五社・十五名
大田区工場展示品受付。	短期技術講習会「超硬工具の知識と技術」。	(株式会社栗原製作所)
十一月二十六日組合。	自動車ローンは組合。	
十一月二十六日放談会	十一月二十六日懇談懇親会(未定)	
十一月二十六日(未定)	鶏会(於ときわ)	
十二月二日(未定)	青年部経営サロン	
十二月十七日(未定)	青年会(木鶏会、於水の登)	
十二月二十九日(未定)	仕事納め	

謹 賀 新 顧 問 新 千 石 岡 杉 内 赤 川 尼 西 市 事 事 理 事 事 理 事 事 理 事 事 理 事 事 理 事 事 理 事 事 理 事

上業協同組年
海 森 葉 田 井 田 谷 谷 ケ 川 寺 純 宗 春 勝 順 卯 弘 憲 (五十音)

一 紘 一 美 弘 助 志 清 藏 博 衛 順 合

永年勤続從業員表彰式

「三国志に学ぶ」 守屋洋氏

謹賀新年

監	監	会計主任	専務理事	理	理	理	理	理	理	理	常任理事	常任理事	常任理事	会常任理事	副理事長	顧問
事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	常任理事	常任理事	常任理事	會常任理事	理事長	
豊	海	正	戸	古	早	野	西	長	鳥	富	川	市	尼	西	千	新
老	名	田	上	川	崎	口	野	坂	海	田	瀬	川	寺	ヶ	石	岡
間														谷	赤	千
正	龍	皓	一				三	基	保	耕	純	宗	春	勝	井	森
厚	教	三	司	安	郎	廣	郎	秀	男	平	一	絃	一	美	弘	葉
														志	憲	海
														清	藏	博
														衛		

(五十音順)

蒲田工業協同組合

謹んで新年のおよびを申上ます

蒲田工業協同組合販賣有志

(五十音順)

機械器具製造業

株式会社 旭川製作所
尼寺空圧工業株式会社
岩佐工機株式会社
合資会社 大津鉄工所

日本ギヤーン無段变速機株式会社
有限会社 蓮沼機械製作所
有限会社 早崎製作所
深尾精機株式会社
藤田工業株式会社

荏原工業株式会社
西野機械工業株式会社
株式会社 日伸製作所
株式会社 ユタカ製作所
金属製品製造業

株式会社 東京ドール製作所
株式会社 東亜製作所
株式会社 大谷造機所
株式会社 東亜製作所
製罐業

日本中空鋼株式会社
株式会社 蝶田電機製作所
江崎工業株式会社
株式会社 新井久四郎鉄工所

株式会社 日産電機
輸送用機械器具製造業

多田プレス工業株式会社
株式会社 清水鉄工所
株式会社 水中空鋼株式会社
株式会社 蛭田電機製作所
江崎工業株式会社
江崎工業株式会社
佐々木発条株式会社
第一シャーリング工業株式会社
トヤマ機器工業株式会社
同和発条株式会社
株式会社 羽田パイプ製造所
有限会社 富士精機製作所
株式会社 京浜鋳造所
杉谷金属工業株式会社
その他

株式会社 内田製作所
株式会社 桑島印刷所
株式会社 古川塗装工業所

株式会社 岡田鋳金株式会社
株式会社 中山電機工芸社
株式会社 東電舎
株式会社 小林電機製作所
太産工業株式会社
株式会社 東電舎
株式会社 巴精工所
株式会社 東京精密器具製作所
東亜株式会社
長坂精機株式会社

株式会社 清川製作所
株式会社 古川塗装工業所
株式会社 桑島印刷所
株式会社 古川塗装工業所